

船舶事故調査報告書

平成22年9月9日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲也

委員 根本 美奈

| | |
|---|--|
| 事故種類 | 乗組員行方不明 |
| 発生日時 | 不明（平成21年4月29日 00時00分ごろ～05時30分ごろの間） |
| 発生場所 | 不明（高知県宿毛市沖ノ島沖～高知県須崎港沖の間） |
| 事故調査の経過 | 平成21年6月3日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか2人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。 |
| 事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等 | 貨物船 ^{しんきほう} 新喜宝、499トン 132469、個人所有 76.22m×12.0m×7.00m、鋼 ディーゼル機関、735kW、平成3年10月 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長 男性 50歳 四級海技士（航海）免状 免許年月日 平成15年9月1日 免状交付年月日 平成21年5月12日 免状有効期間満了日 平成25年8月31日 機関長 男性 51歳 四級海技士（機関）免状 免許年月日 平成4年4月16日 免状交付年月日 平成19年1月11日 免状有効期間満了日 平成24年4月15日 一等機関士 男性 58歳 五級海技士（機関）免状（旧就業範囲） 免許年月日 昭和51年9月3日 免状交付年月日 平成17年8月25日 免状有効期間満了日 平成22年9月18日 |
| 死傷者等 | 行方不明 1人（一等機関士） |
| 損傷 | なし |
| 事故の経過 | 本船は、船長ほか4人が乗り組み、平成21年4月29日00時00分ごろ、高知県宿毛市沖ノ島付近を高知県須崎港に向け航行中、機関長が機関当直を一等機関士に引き継いだ。 機関長は、05時30分ごろ、須崎港に入港スタンバイするため機関室に赴いたとき、当直中の一等機関士が見当たらないことに気付き、船長に報告した。乗組員全員で船内を捜索したほか、船長は、本船を反転させて、当直を交代した沖ノ島付近まで捜索したが、一等機関士を発見するこ |

| | | |
|--------|--|---|
| | とはできなかった。 | |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 南、風力 1、視界 良好 海象：平穏 | |
| その他の事項 | <p>一等機関士の当直予定は、00時から06時であったが、機関日誌に当直中の記載は何もなかった。</p> <p>一等機関士は、本船に乗船してから10日しか経っていなかった。</p> <p>一等機関士は、機関長との機関当直の引き継ぎの際に特に変わった様子はなかった。</p> | |
| 分析 | 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析 | <p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>本船は、須崎港に向けて航行中、一等機関士が、00時00分ごろ沖ノ島沖で機関当直を引き継いだ後、05時30分ごろ須崎港沖で行方不明であることが判明したことから、この間において、落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> |
| 原因 | 本事故は、本船が須崎港に向けて航行中、沖ノ島沖で機関当直を引き継いだ一等機関士が落水したことにより発生したものと考えられる。 | |